

わたしのかみの毛

小 二

わたしは、とてもかみの毛が長くて、そのかみがすきでした。でも、のばしていたのには、べつのりゆうがありません。それは、びょう気の子やこまっっている人に、かみの毛をきふするためです。

ある日、わたしが
「そろそろ、かみを切ろうかな。」

とお母さんにそうだんしたら、

お母さんが、

「三十センチメートルい上かみの毛があるときふができるよ。こまっっている子のやくに立てるよ。だから、もう少しのばしてみるのはどう。」

と教えてくれました。わたしは、

「うん、やってみたい。」
と言って、がんばってのばしてみました。

やっと三十センチメートルい上で切れる長さになったので、かみの毛をきふをしに行

きました。びようしのお姉さん
に
「がんばつてのばしてくれてあ
りがとう。とてもきれいで、
長いウィッグができるよ。
大切につかってもらおう
ね。」
と言われました。
わたしのかみの毛が、だれ
かのやくに立つならうれしい
です。

をしたので、左手に少しまひ
があります。自分でできるこ
とは、なるべく自分でやろう
とがんばっています。でも、
一人でできないこともたくさ
んあります。家では、お母さ
んやお父さんがたすけてくれ
ます。学校では、体いくのと
きに、先生が手つだってくれ
たり、にもつが多いときは、
友だちがものをもってくれた
りします。わたしはたくさん
の人にたすけてもらって、毎
日楽しく生活しています。わ
たしも、だれかのやくに立つ

たり、まわりの人をたくさん
たすけたりしたいです。もし
て、それをみんながすると、
やさしさでいっぱいのせかい
になると思っています。